

「どうやって観ない？」 やいたっふるTV

①インターネットにつながるパソコンを準備し、インターネットの検索バーで「**ユーチューブ やいたっふるTV**」と検索します。
 ※スマートフォン、タブレットでもご覧いただけます。

②検索結果に出てきた「**やいたっふるTV**」のページを開くと、ご覧いただけます。
 ※アカウントを作成し、チャンネル登録すると二回目以降はすぐに動画を観ることができます。



google検索画面、YouTube やいたっふるTV official channelページより引用

ラジオを通して矢板の魅力を発信！ みんなで聴くべー！矢板時間



さて、「観る」の次は「聴く」ですね。聴くと言えば、もちろん「**矢板時間**」です。そこで、昨年からの「**矢板時間**」の二代目パーソナリティを務める「かもちちゃん」と、高賀茂沙緒里さんに独占インタビューしました。

●四月で二年目を迎えました。昨年はどういう一年でしたか。
 たくさんの矢板の人に会えたことが何よりの収穫でした。本当に優しく元気な人ばかりで、気軽に声を掛けていただきました。
 また、「いつも聴いているよ」と言われたことが一番嬉しかった

ですね。
 ●一番印象に残っているものは
 取材をしているうちに、矢板市が「自転車を活用したまっつくり」を推進していることを知り、思い切って私もロードバイクを購入しました。乗り始めは、難しかったです。今ではすっかりハマってしまいました。四月には、齋藤市長と長峰公園内を走りましたよ！



●取材を通して感じた矢板の印象は
 人のやさしいところ、それと自然が豊かなと

ころかな。自転車で走り回って、それを肌で感じました。どなたもこころよく受け入れてくれて、「ウェルカム」の精神に溢れていますね。

●矢板でお気に入りの食べ物・お店は
 まずはリンゴがおいしいことにビックリ。リンゴがこんなにもおいしかったことを初めて知りました。それと、泉の川島屋さんの豚カツ定食が大好きです。おいしさはもちろん、あのボリュームがたまりませんね。
 ●今年はどうなことを心掛けて取材をしますか。
 矢板市には魅力たっぷりの場所やイベントがたくさんあるのに、それが引き出されずにいて「もったいない」気がしています。そこで今年は、もっと掘り下げた取材を

（記者の一言）
 この日のかもちちゃん、県民の森で自然観察をした後、ゴルフヒルズ矢板でゴルフに挑戦するというスケジュールをこなしていました。いつもは取材をする側のかもちちゃんを、今回は逆に取材させていただきました。本人も取材されるのは初めてのこと。これがかわら版記者の特権とも言えます。（T・S）

